

# JR東日本エコ活動報告

## ●事例1 大宮支社 小金井運転区「楽しみながらエコ意識を向上させる」

職場紹介:小金井運転区は、宇都宮線小金井駅に隣接し、2006年には品質マネジメントシステムの国際規格(ISO9001)の認証を取得し、安全で質の高い輸送サービスの提供に向けて日々の業務に取り組んでいる職場です。

小金井運転区では、18名のエコ活動推進メンバーが中心となり、取り組みやすいテーマを複数設定し、楽しみながら各テーマに取り組んでいます。

### ①「エコの日」を定め、エコ新聞を発行

毎月25日をエコの日とし、推進メンバーが持ち回りでエコロジーに関するさまざまな話題を記載したエコ新聞を作成し、職場内の掲示板への掲示や会社のイントラネットを活用し他箇所への情報発信も行っています。

### ②取り組みやすいテーマを設定

2か月に1回エコ活動推進メンバー会議を開催し、ゴミの分別回収の徹底、マイ箸運動など複数の取り組みテーマを設定し社員の意識向上を図っています。

### ③詰所のエアコンの節電と日除け対策

東武鉄道との相互直通運転を行っている特急列車に乗務する際に利用する栗橋詰所のエアコン使用について、乗務員の行路を調べて使用時間帯をグラフにして「見える化」し、不在時の節電を実施しています。



## Voice



小金井運転区  
主任運転士

江田 隆広

職場内でのゴミ分別や置き箸の設置などの身近な取り組みをはじめ、エコに関するさまざまな話題を紹介した毎月のエコ新聞作成や、乗務員詰所でのこまめな節電等を行っています。また、ゴミ埋立て処分場の視察など他企業見学を行い、環境保護に関する課題についても学んでいます。

## -JR東日本エコ活動報告-

## ●事例2 上信越工事事務所 長野原工事区「身近な取り組みからはじめるエコ活動」

職場紹介:長野原工事区は、八ツ場ダム建設に伴い水没する吾妻線の線路付替工事を担当しており、周辺環境に配慮した橋りょう、トンネルなど工事の施工監理を行っています。

長野原工事区では、「工事を進めるうえでの取り組み」と「職場生活での取り組み」に分け、それぞれ目標を立てて取り組んでいます。

## ①工事を進める上での取り組み

イヌワシ、クマタカなどの希少猛禽類が生息する地域では、生態系に影響を及ぼさないよう、作業規制期間の設定や、迷彩ネットで作業ヤードを覆い、視覚的影響を低減するなどの措置を行うことで生態系への配慮を行っています。また白岩沢橋りょうの工事では、工事終了にあたり、周辺の沢に全面的に張芝工を施し環境保全に努めました。

## ②職場生活での取り組み

地球温暖化防止および省エネルギーという観点から、使用していない部屋の消灯や休憩時間におけるこまめな消灯の実行や、夏季および冬季におけるエアコン温度の適正化に取り組んでいるほか、廃棄物削減のため、不要になった裏白紙をストックし、裏白紙の再利用を行っています。



迷彩ネットによる視覚的影響の低減



白岩沢橋りょう張芝工



裏白紙の再利用

## Voice

長野原工事区  
施設技術係

東 隆介

長野原工事区では「工事を進める上での取り組み」として、各自が担当工事の施工計画検討会で出したアイデアや現場における日々の改善活動などを区員全員で共有するようにしています。また、「職場生活での取り組み」でも、気軽に感じたことを話し合いながら、工事区一丸となってエコ活動に取り組んでいます。